

議事録：グループホーム地域連携推進会議

日時 2025年10月25日（土）10:00～11:40

場所：千葉病院第2研修室

参加者：地域住民1名、入居者家族1名、入居者1名、GHスタッフ3名

議題と発言内容

1 グループホームの概要と支援内容について

- ・グループホームの概要：医療法人同和会が船橋市飯山満町で運営する、障害のある人々の地域での生活を支援する小さな住まいです。男性専用「グリーンハイツⅠ・Ⅱ」（定員12名）と女性専用の「カサブランカ」（定員6名）があります。

- ・支援内容：以下の支援を提供しています。

個別支援：入居者の希望に合わせた個別支援計画の作成。

生活支援：平日の朝夕食の提供(カサブランカのみ朝食あり)、家事援助。

日中活動：デイケアや作業療法、就労支援事業所などの福祉サービス利用の相談・調整。

健康管理：体調相談、通院、服薬チェックの支援、訪問看護との連携。

金銭管理：生活費管理の相談。

余暇活動：年間を通じてレクリエーションを企画。

- ・社会復帰：個別の状況に合わせ、自立した生活を送れるよう支援を行っています。現在、グループホームに住みながら就労支援事業所に通う入居者がいることを報告しました。

2 防災対策について

地域住民の方：自身の住む地域の土砂災害リスクに触れ、行政からの情報提供が不十分である現状について意見を述べました。

GHスタッフ：災害時の対策マニュアルや非常災害計画は作成済みであり、今後も確認を続け、情報があれば入居者や家族に伝える方針を述べました。

3 今後の課題(地域との交流を増やす方法について)

地域住民の方：町会が小さく、自治会のイベントが少ないため、地域住民との交流機会が限られているという現状を述べました。

GH スタッフ：地域の清掃活動などを手伝うことで、交流のきっかけにしたいと考えていると発信しました。

入居者家族の方：グループホームの前を自主的に清掃するなどの単純な活動から始めることで、地域住民の偏見をなくし、交流へと繋がるきっかけになるという具体的な提案がありました。

4 参加者からの意見

地域住民、家族：グループホームのスタッフが相談にのってくれることや、入居者本位で考えてくれることに安心感があるという意見が複数出されました。

入居者の方：相談できるスタッフがいるので生活しやすいと感じ、不安はないと話しました。

今後の展望：挨拶を通じて顔馴染みの関係を築き、気軽に声を掛け合えるような協力体制を作っていきたいという意見で締めくくられました。

5、施設見学

会議後、グリーンハイツ I・II、カサブランカ内の見学実施。